

学校評価アンケート			学校評価																	
評価項目	設問	成果指標 (数値目標)	学校評価 (7月・1月実施)																	
			実施月	達成度(生徒)				達成度(保護者)				達成度(職員)				達成度(合算)				考察(上段:後期実践内容 下段:考察)
				1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	
学校運営	学校はグランドルールに基づいた教育指導を行っている。(アンケート設問1)	「適切」「ほぼ適切」と回答した者が全体の80%以上	7月	96%	4%	98%	2%	100%	0%	97%	3%	学園祭や学習発表会での目的設定 始業式や終業式での校長講話、教務連絡 など								
			3月	95%	5%	98%	2%	92%	8%	97%	3%	儀式や全体集会などで校長や教務からグランドルールに絡めた話をしている。また、学園祭や学習発表会において活動の目標としてグランドルールを活かした目標設定も行った。今後も継続して指導を行うために、校内掲示の設置や担任レベルで機会を見計らって話を続ける取り組みを徹底する。								
	礼儀やマナーを重んじる品格ある校風づくりに努めている。(アンケート設問2)	「適切」「ほぼ適切」と回答した者が全体の80%以上	7月	91%	9%	96%	4%	85%	15%	94%	6%	LST(ライフスキルトレーニング)での礼儀、マナーの授業 1・2年生の秘書検定やサービス接客検定の挑戦 3年生の面接指導 など								
			3月	88%	12%	96%	4%	83%	17%	92%	8%	後期は1・2年生もマナーに関わる検定を受検するなど年間を通したLSTの授業の成果が見えるようになり、生徒・保護者ともに数値目標を達成することができた。マナーに対する生徒の意識は高まっているが、家での行動などでも意識の向上が見られるような指導を継続していく。								
教育活動	大型モニターや学習用PC、iPadなどの電子機器を活用した授業が行われている。(アンケート設問6)	「適切」「ほぼ適切」と回答した者が全体の80%以上	7月	97%	3%	97%	3%	92%	8%	97%	3%	iPadを用いた動画編集の授業とコンクールへの出品 プレゼンソフトだけでなく映画や動画などを用いた授業展開 など								
			3月	94%	4%	95%	5%	100%	0%	96%	4%	iPadを使った動画編集をしてコンクールなどに応募し、賞を獲得している生徒もいるが、まだまだ情報発信が不足していると考えられる。生徒への紹介だけでなく学校の取り組みを授業レベルでもHPや外部の方がお見えの際に知ってもらえるよう発信する取り組みを次年度は行っていく。								
	授業及び定期考査や検定試験を通して、学ぶ意欲が向上している。(アンケート設問7)	「適切」「ほぼ適切」と回答した者が全体の80%以上	7月	87%	13%	91%	9%	69%	31%	88%	12%	1年生の定期試験における「プレ試験一本試験」の学習の流れの定着 通知表など成績表の配布 1年生の検定調整増加								
			3月	86%	14%	94%	6%	92%	8%	90%	10%	生徒の評価はほぼ同じ値だが1「適切」を選んでいる生徒が増えている。定期考査で良い成績がとれたり検定に合格したりしたことで達成感や満足感を感じることができたからと考える。また、職員の評価が向上している。目に見える成果(成績、検定)が影響していると考えられる。目に見えない意欲(登校、授業参加)の向上も目指していきたい。								
生徒支援	生徒の心身の悩みに親身になって相談に乗り、健康やメンタルヘルスに関する指導を行ってほしい。(アンケート設問3)	「適切」「ほぼ適切」と回答した者が全体の80%以上	7月	95%	5%	96%	4%	100%	0%	96%	4%	教育相談部会の設置と情報共有 個別の面談実施や1・2年生三者面談 養護担当職員による面談 など								
			3月	95%	5%	97%	3%	100%	0%	96%	4%	保健だよりを発行するなど健康に関する啓発を行うことはできた。職員が個々の生徒の悩みを聞くなど積極的に対応することは継続的にできている。ただ職員の対応などで生徒・保護者から相談を受けることもあったので全職員が同じ意識で生徒に対応できるよう情報の共有や対応の仕方を身につけていく必要がある。								
	進路選択、決定に役立つ面談や面接指導、学内外での外部講師ガイダンスなどの進路指導が行われている。(アンケート設問8)	「適切」「ほぼ適切」と回答した者が全体の80%以上	7月	97%	3%	97%	3%	100%	0%	98%	2%	進路ガイダンス(2回) 県主催2年生対象進路ガイダンス 外部業者による模擬面接会への参加(3年) など								
			3月	96%	4%	92%	8%	100%	0%	94%	6%	生徒・保護者・職員とも前回の調査結果とほぼ変わらない値で評価されている。進路に関する取り組みは今年度計画している内容を継続して取り組むことが必要である。保護者の数値が下がっているため保護者とのコミュニケーションを測り、保護者の要望を把握し、教育活動に取り組む必要があると考える。								
生徒指導等	交通ルールや規則を遵守しており、安全教育が着実に実施されている。(アンケート設問4)	「適切」「ほぼ適切」と回答した者が全体の80%以上	7月	91%	9%	92%	8%	85%	15%	92%	8%	始業式、終業式での啓発 交通安全週間の啓発 など								
			3月	86%	14%	95%	5%	75%	25%	90%	10%	全体集会で交通安全の話をするなど全体指導の機会を逃さず行ってきた。設問1と同じように担任レベルまで落とし込み、必要なときだけでなく適宜指導をしていく必要がある。また、交通安全週間など掲示物で啓発するとともにHPで保護者に対しても啓発活動を行うことも重要である。さらに交通立ち番など実践的な取り組みを行うことで職員も安全教育を実践していると感じる。								
	SNSやインターネット上のトラブルの防止や、正しい使い方の指導が行われている。(アンケート設問5)	「適切」「ほぼ適切」と回答した者が全体の80%以上	7月	89%	11%	90%	10%	77%	23%	89%	11%	情報I(1年) 始業式、終業式での啓発 など								
			3月	83%	17%	88%	12%	58%	42%	84%	16%	概ね前回と同じような評価がされている。情報Iの授業で情報リテラシーの学習をしたことが評価につながったと考える。職員の評価が低下した理由としては、授業以外での指導ができなかったことと考える。そのため次年度は積極的に情報モラルなどSNS関連の外部講師を招いての講話を企画していきたい。								
教育環境	安心・安全な教育環境が整っている。(アンケート設問10)	「適切」「ほぼ適切」と回答した者が全体の80%以上	7月	96%	4%	94%	7%	100%	0%	95%	0%	職員会議などで情報共有 補習箇所の修繕 2年次点検の実施 など								
			3月	90%	10%	96%	4%	92%	8%	94%	6%	生徒と保護者からは前回とほぼ同じ程度の評価を得られている。職員の適切という評価が下がっている。登下校時や学校生活の中で大きな事故やケガなどはなかったが、具体的にどのような点で安心・安全が整っていないのか共有する必要がある。								
	学校は、生徒の誰もが学校生活を楽しくするために工夫している。(アンケート設問9)	「適切」「ほぼ適切」と回答した者が全体の80%以上	7月	91%	9%	96%	4%	85%	15%	93%	7%	星生祭や修学旅行などの学校行事 クラス(学年)レクリエーションの実施 など								
			3月	91%	9%	95%	5%	75%	25%	92%	8%	生徒・保護者は前回とほぼ同様の評価を得ることができている。しかし、職員の適切な評価が低下している。今回のアンケートでは具体的な記述での回答ではなかったため職員間で情報の共有を図るため情報交換の場を設けたり個別にヒアリングをしたりするなどの取り組みを行う必要がある。								

重点目標アンケート			意識調査																					
重点項目	設問	実施月	学校評価 (7月・1月実施)																					
			達成度(生徒)				達成度(保護者)				達成度(職員) 7月				達成度(合算) 3月				考察					
			1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4						
重点項目	あなたは生徒一人ひとりを大切にしている学年・学級運営の充実を目指し業務を行っていますか。																			92%	8%	92%	8%	92%が適切と評価をすることができている。しかし、学校運営の根幹ともいえる学級運営のことなので適切と回答できるような運営を目指す必要がある。そのために担任だけに任せるのではなく学校全体として方向性や目標を明確に設定することでさらなる向上を目指したい。
	あなたは進路意識向上による進路目標の実現を目指し業務を行っていますか。																			75%	25%	59%	41%	重点目標への達成度が不十分と感じている職員が増加している。担当学年における進路意識の差が大きく表れた結果となった。進路指導委員会を今年度設置したが効果的に機能しなかったと考えられるので次年度の委員会の活動に生かしていきたい。
	授業改善による授業力向上を目指し業務を行っていますか。																			84%	16%	50%	50%	授業力改善に対する取り組みへの評価が大きく変化している。前回に比べて不適切よりの評価が上がっている。学力や学習意欲の向上のために必要な項目なのでシラバスの見直しなど年間を通して授業力向上を図っていく。
	積極的な情報発信と地域貢献を目指し業務を行っていますか。																			67%	33%	75%	25%	HPのブログなど情報発信は行ってきており、学園祭の案内などを鍋島地区に配布するなど地域への情報発信も行うことができた。また、鍋島地区の高齢者スマホ教室や養生ふれあいまつりなど本校生徒が参加することもできている。何度末には鍋島駅までの通学路を中心に清掃活動を実施した。今後はさらに地域貢献ができるよう地域との交流など模索していきたい。